

2008 年 7 月の東北地方の天候

【 7 月の特徴 】

- 上旬、中旬の高温
- 上旬の少雨
- 下旬の多雨、寡照

(1) 2008 年 7 月の概況

この期間、上旬は北海道の東海上にある高気圧が南西に勢力をのぼしたため、また中旬は太平洋高気圧が西日本への張り出しを強めたため、南からの暖かい空気が入りやすくなり気温は高くなった。上旬は低気圧や前線の影響は小さく、降水量は少なかったが、中旬以降は上空の寒気の影響で大気の状態が不安定になり、局地的な大雨や雷雨となる日もあった。下旬は上空の寒気の影響に加えて、低気圧や前線の影響により、降水量は多く、日照時間は少なくなった。特に東北太平洋側では湿った東よりの風の影響も加わり、下旬の日照時間はかなり少なくなった。

東北北部・東北南部ともに 19 日ごろ梅雨明けしたと見られ、平年と比べ東北北部で 8 日、東北南部で 4 日早い梅雨明けとなった。

月平均気温は東北地方で高い。月降水量は東北地方で平年並。月間日照時間は東北地方で少ない。

(2) 各旬の天候経過

上旬：この期間、天気は数日の周期で変わった。3 日から 4 日にかけてと 7 日に低気圧や気圧の谷の影響で雨となったほかは、低気圧や前線の影響は小さく、高気圧におおわれ晴れの日が多かった。このため、降水量は平年に比べて少ないところが多かった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北地方で少ない。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。

中旬：低気圧や前線と高気圧が交互に通過し、天気は短い周期で変わった。11 日夜と 14 日には、日本海を東北東進した低気圧の影響で、東北北部を中心にまとまった雨となり、局地的に雷を伴った激しい雨となったところもあった。東北太平洋側の南部では低気圧や前線の影響が小さく、降水量は少なかった。

平均気温は東北地方で高い。降水量は東北北部で多く、東北南部で少ない。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。

下旬：低気圧や前線、湿った東よりの風の影響により、曇りや雨の日が多かった。27 日から 29 日にかけては、上空に寒気を伴った低気圧や前線の影響により大気の状態が不安定となり、各地で大雨による浸水害や土砂災害、雷による停電などが発生した。

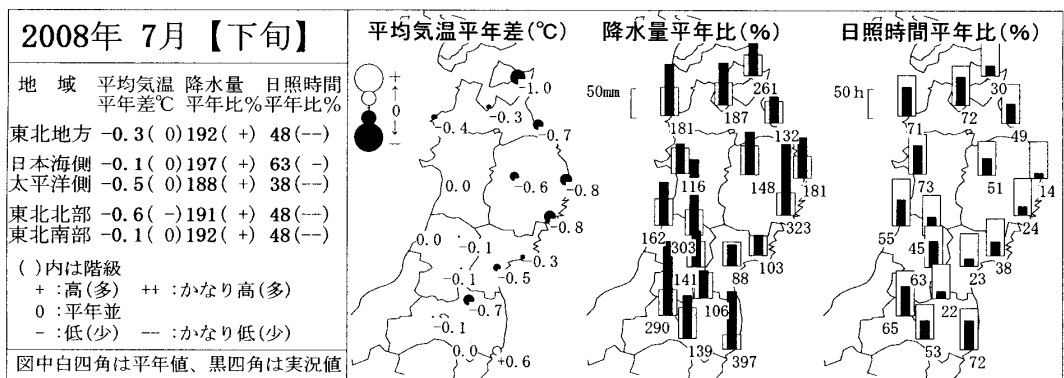
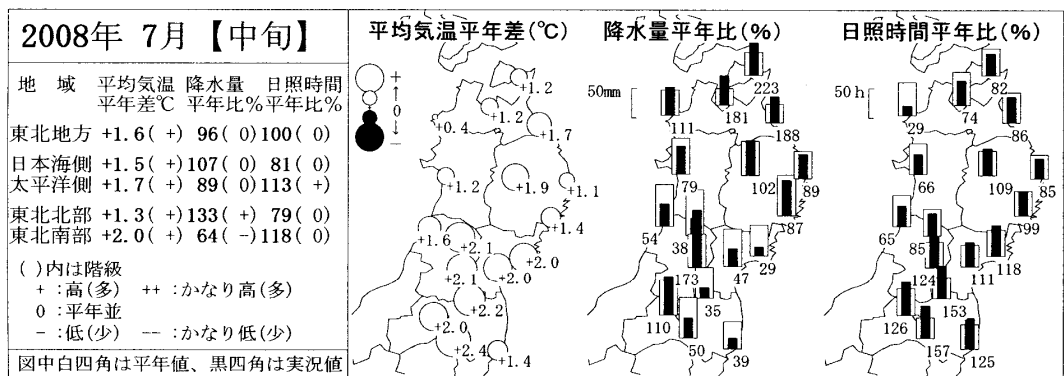
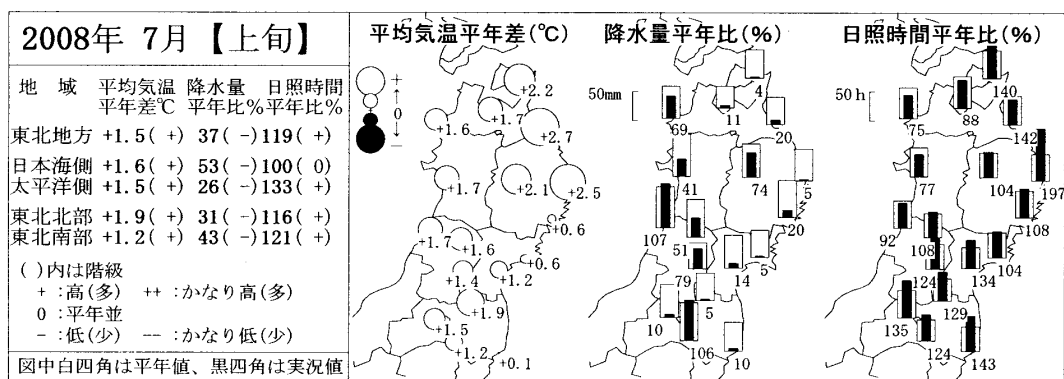
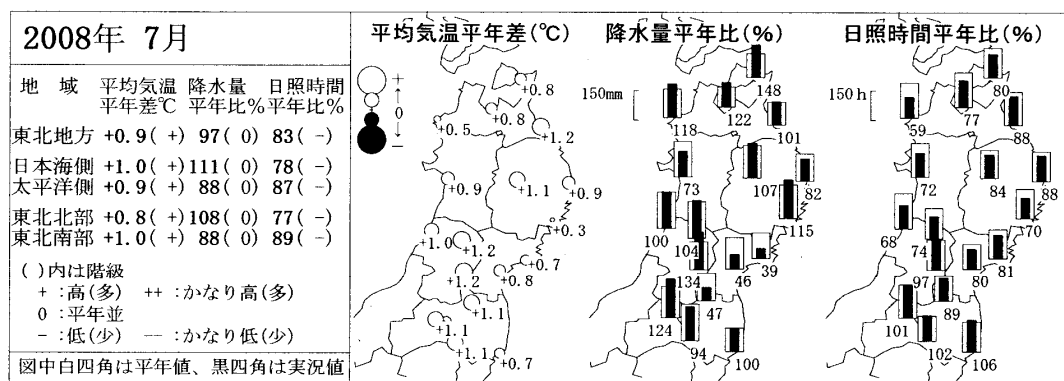
平均気温は東北北部で低く、東北南部で平年並。降水量は東北地方で多い。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側でかなり少ない。

注) 気候統計値は、東北地方にある 17 地点の气象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については 2 ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は 1971-2000 年です。階級区分については、3 ページ目脚注 2 を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区气象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2008年7月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971～2000年。

注1) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

(4) 2008 年 7 月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差) 階級			降水量(平年比)階級			降水日数 ≥1mm	日照時間(平年比) 階級		
	(℃)	(℃)		(mm)	(%)			(h)	(%)	
青 森	21.9	(+0.8)	+	125.5	(122)	+	9	137.4	(77)	—
深 浦	21.8	(+0.5)	○	173.0	(118)	+	14	105.3	(59)	—*
む つ	20.4	(+0.8)	+	182.0	(148)	+	7	121.3	(80)	—
八 戸	21.4	(+1.2)	+	118.0	(101)	○	12	149.1	(88)	○
秋 田	23.7	(+0.9)	+	130.5	(73)	○	12	123.6	(72)	—
盛 岡	22.9	(+1.1)	+	176.5	(107)	○	15	119.6	(84)	—
大 船 渡	21.3	(+0.3)	○	196.0	(115)	○	15	105.7	(70)	—
宮 古	20.9	(+0.9)	+	114.5	(82)	○	15	132.0	(88)	○
仙 台	22.9	(+0.8)	○	73.5	(46)	—	13	102.2	(80)	—
石 巻	22.0	(+0.7)	○	51.5	(39)	—	11	120.5	(81)	—
山 形	24.4	(+1.2)	+	193.5	(134)	+	14	150.6	(97)	○
新 庄	23.5	(+1.2)	+	193.0	(104)	○	15	113.5	(74)	—
酒 田	24.2	(+1.0)	+	187.0	(100)	○	14	122.1	(68)	—*
福 島	24.6	(+1.1)	○	68.5	(47)	—	9	118.6	(89)	—
若 松	24.5	(+1.1)	+	198.0	(124)	○	15	170.6	(101)	○
白 河	23.1	(+1.1)	+	176.5	(94)	○	16	131.4	(102)	○
小 名 浜	22.4	(+0.7)	+	121.0	(100)	○	7	162.5	(106)	○

(注) 1. 平年値は1971～2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:平年並 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1971～2000年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に*を付加した。この場合には

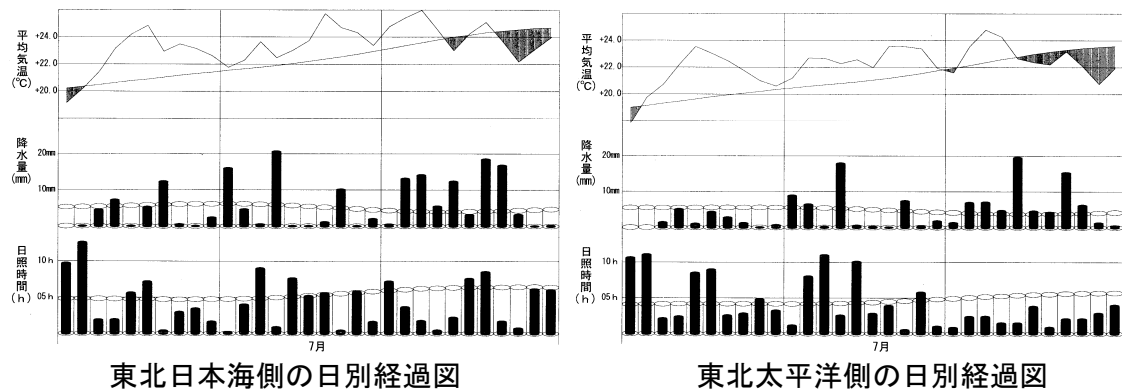
かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

と表現できる。

3. 値の横に「)」や「]」がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。「)」付きの値(準完全値)は通常のものと同様に扱うことができるが「]」付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

(5) 2008 年 7 月の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均（気温：実線と点線、降水量・日照時間：黒い円柱と白抜き円柱）

(6) 2008 年 7 月の極値・順位の更新

※順位の更新はタイ記録も含んでいる。タイ記録は「=」で表す。

月平均気温高い方からの順位更新
3 位以内はなし

月平均気温低い方からの順位更新
3 位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新
3 位以内はなし

月降水量少ない方からの順位更新
3 位以内はなし

月間日照時間多い方からの順位更新
3 位以内はなし

月間日照時間少ない方からの順位更新
3 位以内はなし

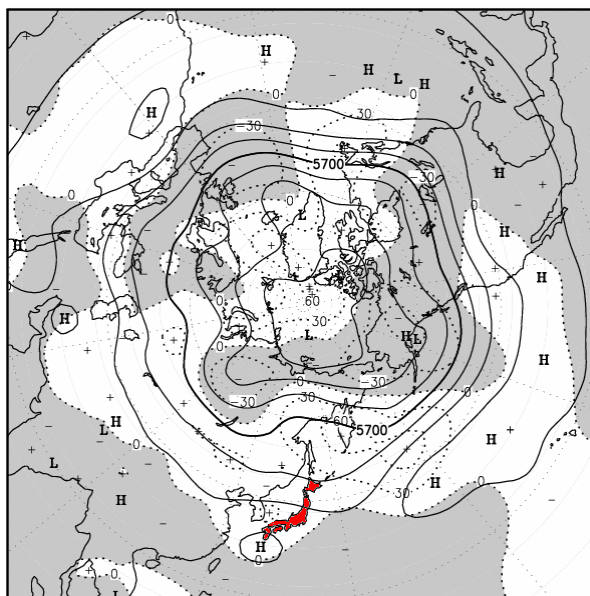
（注）平年値とは 1971～2000 年の 30 年間の値を平均したものである。

(7) 2008 年 7 月の循環場の特徴

極東域の北緯 40 度から北緯 60 度帯は正偏差。カムチャツカの東で正偏差が強く、上旬は地上の高気圧が北海道の東海上から南西に勢力をのびし、暖かい南よりの風が北日本に入りやすくなった。

九州の南には亜熱帯高気圧の中心があり、中旬以降は西日本中心に太平洋高気圧におおわれたが、日本の東は相対的に気圧の谷となっており、時々上空に寒気が入ったため、大気の状態が不安定になって、雷雨となることがあった。

東シベリアではリッジが発達し、偏西風の分流がみられ、東北太平洋側では一時オホーツク海高気圧の影響を受けた。



2008 年 7 月の平均 500hPa 高度

実線は等高線：60m 毎、点線は偏差：30m 毎
陰影部は負偏差（寒気に対応）

(8) 2008 年の梅雨明けの状況（速報値）

平成 20 年の梅雨明け(速報値)					
地方	平成 20 年	平年差	昨年差	平年	昨年
沖縄	6 月 17 日ごろ	6 日早い	4 日早い	6 月 23 日ごろ	6 月 21 日ごろ
奄美	7 月 2 日ごろ	4 日遅い	4 日遅い	6 月 28 日ごろ	6 月 28 日ごろ
九州南部	7 月 6 日ごろ	7 日早い	12 日早い	7 月 13 日ごろ	7 月 18 日ごろ
九州北部	7 月 6 日ごろ	12 日早い	17 日早い	7 月 18 日ごろ	7 月 23 日ごろ
四国	7 月 4 日ごろ	13 日早い	19 日早い	7 月 17 日ごろ	7 月 23 日ごろ
中国	7 月 16 日ごろ	4 日早い	7 日早い	7 月 20 日ごろ	7 月 23 日ごろ
近畿	7 月 16 日ごろ	3 日早い	8 日早い	7 月 19 日ごろ	7 月 24 日ごろ
東海	7 月 19 日ごろ	1 日早い	8 日早い	7 月 20 日ごろ	7 月 27 日ごろ
関東甲信	7 月 19 日ごろ	1 日早い	13 日早い	7 月 20 日ごろ	8 月 1 日ごろ
北陸	7 月 19 日ごろ	3 日早い	13 日早い	7 月 22 日ごろ	8 月 1 日ごろ
東北南部	7 月 19 日ごろ	4 日早い	13 日早い	7 月 23 日ごろ	8 月 1 日ごろ
東北北部	7 月 19 日ごろ	8 日早い	23 日早い	7 月 27 日ごろ	8 月 11 日ごろ

注)

・梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に 5 日間程度の「移り変わり」の期間があります。ここに掲載した期日は移り変わりの期間の概ね中日を示しています。

・「平年」は、平成 12 年（2000 年）までの過去 30 年の平均（入り・明けを特定しなかった年は除外）の日付です。